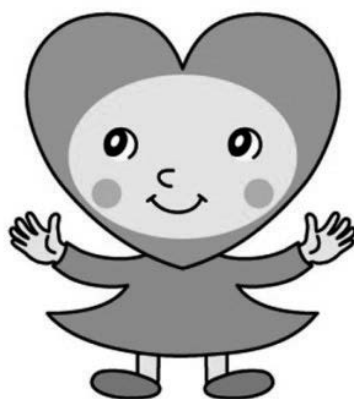


令和6年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集



地域福祉推進のマスコット
のみんちゃん

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

令和6年度 地域福祉・ボランティア・在宅福祉 事業報告集 目次

項 目	ページ
I 市民の参加と協力を得た組織運営	
①理事会・評議員会の開催	3
②第4次能美市地域福祉活動計画の推進（3年目）	3
③会員会費募集	3
④愛の福祉基金	3
II 福祉意識の醸成の働きかけ	
⑤社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動 ・社会福祉大会 ・春 まち ぽかぽか プロジェクト	4～7
⑥広報誌の発行・ホームページ運営・SNS等による情報発信	7
⑦交流を中心としたふれあい福祉事業 ・聴覚に障がいのある方のつどい「福耳ネット」 ・視覚に障がいのある方のつどい「ぬくもりサロン」 ・ふれあい福祉交流会 ・こころに寄り添い合う人づくり講座	8
⑧福祉団体や福祉活動グループの活動支援 ・老人クラブ連合会の支援 ・身体障害者福祉協議会の支援 ・母子寡婦福祉連合会の支援 ・民生委員児童委員協議会の支援 ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援 ・のみ社会福祉法人連絡会の支援	8～9
III 地域の支え合い体制づくりの推進	
⑨見守りネットワークの構築	9
⑨-1 地域福祉委員会の活動支援	9～11
⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援	11
⑨-3 いきいきサロン等の活動支援	12
⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援	12
⑨-5 ふれあい弁当の実施	13
⑨-6 子育て応援弁当の実施	13
⑨-7 音訳テープの提供	13
⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援	13
⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援	14
⑩生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み	14
⑩-1 生活支援コーディネーターの配置	14
⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）	14
⑩-3 フードドライブの実施	15
⑪同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援 ・ほっとあんしんサロン ・親子サロンとママ友相談	15

項 目	ページ
⑫ ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営	16
⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入《登録グループ一覧》	16～20
⑫-2 ボランティア講座の開催 ・ジュニアボランティアクラブ ・中学生ボランティアチャレンジ体験 ・高校生ボランティアチャレンジ体験 ・ボランティア活動きっかけづくり講座	21～22
⑫-3 能美市民ボランティアフェスティバルの開催	22
⑫-4 ボランティアグループ活動支援（助成金）	23
⑫-5 福祉協力校の活動支援	24
⑫-6 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援	24
⑫-7 ボランティア情報発信	24
⑫-8 ボランティア器材の貸出し＜用品一覧＞	25
⑫-9 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが窓口の 収集物について	26
Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営	
⑬ 高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口	27
Ⅴ 暮らしサポートセンターのみの運営	
⑭ 生活困窮者自立相談支援事業（食糧支援含む）	28
⑮ 福祉サービス利用援助事業	28
⑯ 能美市福祉資金	29
⑰ 石川県生活福祉資金	29
⑱ 歳末時のお見舞金の贈呈	30
⑲ 安全・安心のための各種相談	30
⑲-1 心配ごと相談	30
⑲-2 弁護士無料法律相談	30
⑲-3 行政書士無料相談	30
⑳ 成年後見制度利用促進事業	31
Ⅵ 在宅福祉サービスの提供	
㉑ 福祉移送サービス（外出支援サービス）	31
㉒ たすけあい・ライフサポーター（訪問型サービスB）派遣事業	31
Ⅶ 老人福祉センターの指定管理、運営	
㉓ 老人福祉センター白寿会館の管理、運営	32
Ⅷ 能登半島地震・能登豪雨災害に伴う被災者支援	
㉔ 被災者見守り・相談支援等事業	32
Ⅸ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧	33

I 市民の参加と協力を得た組織運営

① 理事会・評議員会の開催

市民が参加、協力しあって地域福祉を推進する各団体である社会福祉協議会を構成し、協議し合う機会をつくった。

理事会	(第83回～85回)	3回開催
評議員会	(第76回～78回)	3回開催
評議員選任・解任委員会	(第18回～19回)	2回開催
監査会		1回開催

② 第4次能美市地域福祉活動計画の推進(3年目)

行政計画の第4次能美市地域福祉計画の策定と同期策定した、第4次能美市地域福祉活動計画を、多くの市民の協力を得て推進した。

第4次計画を推進する3委員会

- 推進する3つの委員会※・・・33回開催
 - ・ここに寄り添い合う人づくり委員会
 - ・見守り・助け合い推進委員会
 - ・くらし応援委員会

第4次計画こころ豊かな地域づくりの会、評価委員会

- こころ豊かな地域づくりの会・・・4回開催
- 評価委員会・・・6回開催

※市民への報告の機会・・・「春 まち ぽかぽか プロジェクト」(5頁掲載)

2月22日(土)～3月2日(日)の間、第4次活動計画の推進に関する報告の機会として、18プログラムを実施した。

③ 会員会費募集

推進月間(7月)に取り組み、まちぐるみで地域福祉活動を進める気運を盛り上げた。地域福祉充実のための財源として活用した。

正会員実積	個人会員数	1,032名	金額	1,032,000円
	組織・団体・法人	85団体		425,000円
賛助会員実積	個人会員数	3,079名		1,654,400円
	企業・団体	178団体		645,000円
		総額		3,756,400円

④ 愛の福祉基金

市民の善意による寄付を愛の福祉基金として積み立てた。

9件 総額6,765,892円

Ⅱ 福祉意識の醸成の働きかけ

⑤ 社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動

各種大会やつどいを開催し、市民の福祉意識を啓発し、地域での支え合いや助け合いの活動への参加を促した。

大会の名称	期日・会場	参加者数	受賞者一覧
第20回 能美市社会福祉大会	11月30日 (土) 寺井地区 公民館	171名	◆ 社会福祉功労者表彰 (33名 4団体) (敬称略) <u>特別感謝状</u> 1名 田上 好道 <u>感謝状</u> 3名 (故)荒田 正信 栗山 よしみ 佐々木 久美子 <u>民生委員・児童委員</u> 3名 北山 省治 (辰口地区) 吉田 則明 (寺井地区) 中 裕子 (寺井地区) <u>社会福祉活動者・団体</u> 1名4団体 米田 浩美 (福祉推進員) 野花菖蒲たつのくち (代表: 西田美代子 会員: 16名) 手話サークル ゆず (代表: 坂下 淳子 会員: 12名) 能美・健康ワーキンググループ (代表: 深山 理麻 会員: 6名) 認定 NPO 法人えんがわ (代表: 中田 八郎 会員: 22名) <u>社会福祉団体役・職員</u> 5名 鳥尾 良子 (身体障害者福祉協議会) 東出 道子 (身体障害者福祉協議会) 中川 美子 (ボランティア連絡協議会) 谷口 正敏 (遺族会) 斉藤 晃 (老人クラブ連合会) <u>社会福祉施設役・職員</u> 20名 川端 幸江 (優・優 花咲く丘) 谷村 絵 史香 (佛子園) 大土 貴生 (オレンジ・ケア) 竹内 寿治 (陽翠水) 谷末 勇樹 (陽翠水) 中屋 良子 (陽翠水) 太田 千恵 (陽翠水) 大山 恵奈 (陽翠水) 小坂 匡里 (陽翠水) 益江 未緒 (湯寿会) 秋野 ちはる (喜峰会) 谷口 翼紗 (喜峰会) 沼澤 瑞穂 (喜峰会) 杖村 正恵 (喜峰会) 海老原 綾 (なごみの郷) スミスめぐみ (保育園) 下口 千尋 (保育園) 室矢 友香 (保育園) 細川 知佳 (保育園) 綾 裕里 (保育園) ◆ 記念講演 <u>講演</u> 「誰もが自分を生かして幸せに暮らせる 地域づくりをすすめよう」 <u>講師</u> 公益財団法人 さわやか福祉財団 理事長 清水 肇子氏 ◆ パネルディスカッション <u>パネリスト</u> 荒木 欣二氏 粟生町地域福祉委員会 委員長 清水奈津美氏 のみ♡子育てネットワーク 代表 ・三道山子ども食堂 役員 毎田 雄一氏 下ノ江ささえあい隊 代表 <u>コーディネーター</u> 西川 方敏氏 能美市社会福祉協議会 理事 第4次能美市地域福祉活動計画評価委員会 委員長
 受賞された皆様			
 受賞者代表で謝辞を述べる田上氏			
 パネルディスカッションの様子			

『春 まち ぽかぽか プロジェクト』

テーマ：「誰もが幸せに暮らせるまちをめざして！！」

～つながりはあふれる笑顔😊あなたのひと声から～

第4次能美市地域福祉活動計画を推進する市民参画の3つの委員会の1年間の取り組みの報告と、市民団体などの支え合い・助け合い活動を知って、自分自身の「つながり」やこの地域の「つながり」について考え学ぶ機会とした。

★プログラム1,2,9,15,18 第4次能美市地域福祉活動を推進する3委員会の取り組みを理解する機会

★プログラム3,5,7,8,10,13,16,17 市民が取り組んでいる「支え合い・助け合い・つながりあう活動」を知る機会

★プログラム4,6,14 市民が学ぶための機会

【開催期間】2月22日(土)～3月2日(日) 9日間

【参加者数】延べ1,917名

令和6年度は、令和7年2月22日(土)～3月2日(日) **誰もが幸せに暮らせるまちをめざして!!**

～つながりはあふれる笑顔😊あなたのひと声から～

春まちぽかぽかプロジェクト

このまちで **人々のこころの豊かさを感じる9日間!!**

このプロジェクトは、第4次能美市地域福祉活動計画を推進する市民参画の3つの委員会の1年間の取り組みの報告と、市民団体などの支え合い・助け合い活動を知って話し合う機会です。

私たちは、今、自らが主体となって、あなたが「つながり」を深め、暮らしの中の様々な問題の解決に向けて、支え合うことの出来るまちづくりをめざしています。

あなた自身の「つながり」やこの地域の「つながり」について一緒に考えてみましょう。あなたは、どんな「つながり」を感じていますか？

プログラムに参加して、スタンプを集めよう!!

プログラム1,2,9,15,18
プログラム3-8,10-14,16,17
あわせて5個以上スタンプを収集しよう!!

お気軽に各会場にお越しください

なお、プログラム1,2,4,9,15,18は
オンライン(Zoom)でも参加できます!! (申込必要)
申込締切2月14日(金)

こちらから、各プログラム番号をお申込みください⇒

～地域福祉活動における大切にしたい過程～

【知る】⇒【理解する】⇒【共感する】⇒【活動(行動)する】

オープニング

～誰もが幸せに暮らせるまちをめざして!!～

●日時：2月22日(土) 10時～10時30分
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

クロージング

～地域福祉のつどい～

●日時：3月2日(日) 13時30分～15時30分
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

主催：こころ豊かな地域づくりの会・能美市社会福祉協議会

市民参画で地域福祉をすすめるための委員会活動

2 暮らしに寄り添う人々の切實な声

～多様な人々の声に耳を傾けて～

●日時：2月22日(土) 10時30分～12時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

市民が取り組んでいる「支え合い・助け合い・つながりあう活動」

3 集まれ ボランティア

～地域と共に歩む 若者の成長ストーリー～

●日時：2月24日(月・振休) 10時～11時30分
●会場：能美市生涯学習センター(寺井町10)

市民が学ぶための機会

4 ボランティア活動を知って、始めてみませんか!

(ボランティア活動に参加するための講座)

●日時：2月23日(日) 13時30分～15時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

見守り・助け合い推進委員会

5 つなげよう声かけ合って地域の輪

～自分ができる見守り・助け合い活動って何だろう～

●日時：2月24日(月・振休) 13時30分～15時
●会場：能美市生涯学習センター(寺井町10)

世界はともだち

～能美市で暮らす外国人・日本人の交流～

●日時：2月26日(水) 10時～12時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

傾聴は、人をなく 心の架け橋

～災害時の心のケアにも～

●日時：2月26日(水) 13時30分～15時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

被災者から学ぶ

～自分たちができる～

●日時：2月23日(日) 10時～12時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

めざそう、足腰丈夫でニコニコ100歳!!

～高齢者の健康づくり～

●日時：2月27日(土) 10時～11時30分
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

人の喜びが自分の喜び

～笑顔・地域の絆を大切に～

●日時：3月1日(火) 13時30分～15時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

ひきこもり支援講座

～家族・地域のためにできること～

●日時：2月25日(月) 10時～11時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

居場所・い場所!!

～わたしたちの居場所をみつめませんか?～

●日時：3月1日(火) 10時～11時30分
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

ようこそ、おみんぽろへ!

～みんな de 楽しく運動遊び～

●日時：2月22日(土) 10時～11時30分
●会場：能美市生涯学習センター(寺井町10)

これからの暮らしと身近な社会について

～ほっとおんしんサロン～

●日時：2月25日(月) 13時30分～15時30分
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

権利擁護と財産管理について

～学ぼう～

●日時：2月28日(木) 13時30分～15時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町2-8-1)

フードドライブ

～もったいないから、あげたいとへや～

●日時：3月2日(日) 食品受付：10時～15時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

フードバントリー&カフェコーナーの紹介

～フードドライブで寄付いただいた食品を、カフェで活用～

●日時：3月2日(日) 10時～11時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

第4次能美市地域福祉活動計画

基本理念：みんなで創るこころ豊かな地域社会

基本目標：助け合い、助けられたりの地域づくり
～誰一人取り残さない、取り残さない～

フードドライブ

～もったいないから、あげたいとへや～

●日時：3月2日(日) 食品受付：10時～15時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

フードバントリー&カフェコーナーの紹介

～フードドライブで寄付いただいた食品を、カフェで活用～

●日時：3月2日(日) 10時～11時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

第4次能美市地域福祉活動計画

基本理念：みんなで創るこころ豊かな地域社会

基本目標：助け合い、助けられたりの地域づくり
～誰一人取り残さない、取り残さない～

フードドライブ

～もったいないから、あげたいとへや～

●日時：3月2日(日) 食品受付：10時～15時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

フードバントリー&カフェコーナーの紹介

～フードドライブで寄付いただいた食品を、カフェで活用～

●日時：3月2日(日) 10時～11時
●会場：寺井地区公民館 大ホール(寺井町347)

【「能美たすかったわ～大賞」の表彰式】

3月2日(日) 13時30分～ 寺井地区公民館 大ホール

＊「能美たすかったわ～大賞」応募総数 1,091 作品

(一般 33 作品 小学生の部 1,058 作品)

見守りや居場所づくりなど、人との繋がりが希薄化している状況下において、見えてきた地域でのあたたかいつながり、住民同士が互いに支え合い、助けたり、助けられたり「お互いさま」の感謝の気持ちの大切さについて理解を深め、地域福祉推進の意識向上の気運を高めるために、「あんたのおかげでたすかった～、うれし～かった話」の100文字作文を募集、表彰した。

大 賞 西野 洋子 (赤井町) (敬称略)

【作品】 町内の高齢者お助け隊の方に、毎月一回粗大ごみを美化センターに、運んでもらっています。又、自宅周辺に、除草剤の散布をお願いしています。何も出来ない年寄りには、本当にたすかっています。心から感謝です。

一般の部	優秀賞	越村 弘美 (泉台町)
	//	由田 照子 (上開発町)
	//	山田 杏莉 (寺井中学校 2年)

小学生の部	優秀賞	沢田 恵菜 (浜小学校 6年)
	//	井出 唯仁 (寺井小学校 6年)
	//	梁 妙妙 (湯野小学校 5年)
	//	濱中 悠斗 (辰口中央小学校 5年)
	//	川崎 杏珠 (宮竹小学校 2年)
	//	榎本 泰千 (和気小学校 4年)



市社協伴場会長から受賞者の方へ、表彰状と副賞を贈呈しました。

【春 まち ぽかぽか プロジェクト関連事業】

「ふくしの魅力発信!!ぽかぽかパネル展示」

能美たすかったわ～大賞の受賞作品、市内のボランティアグループの活動紹介や市内の福祉協力校の福祉教育・ボランティア活動紹介、のみ社会福祉法人連絡会の取り組み等を展示した。

実施日時：2月22日(土)～3月2日(日)
10時～16時

実施会場：寺井地区公民館
見学者：約500名



市内で様々なボランティアグループが活動をしています。

「ぽかぽか演芸ショー」

老人福祉センター白寿会館で、ぽかぽか演芸ショーを開催した。

老人福祉センター白寿会館
開催日：2月23日(日・祝)
時間：13時～14時
内容：「根上歌謡会」による歌や踊り
参加者：38名



参加者は、心も体もぽかぽかになりました。

地域福祉のつどい ※春 まち ぽかぽかプロジェクト 最終日 ※第4次能美市地域福祉活動計画の3年目の報告会として開催	3月2日 (日) 寺井地区 公民館	参加者 135名	◆能美市地域福祉活動計画の これからに向けて 講演 「誰もが幸せに暮らせる まちをめざして」 講師 ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志氏 《第4次能美市地域福祉活動計画の 3委員会委員長が報告》 ・ここに寄り添い合う人づくり委員会 津田 康則 委員長 ・見守り・助け合い推進委員会 藤田 珠美 委員長 ・くらし応援委員会 近藤沙夜里 委員長
--	---	---------------------	---



参加者は、井岡氏の講演と3委員会の報告を受け、能美市の地域福祉について知り、考える機会となりました。

⑥ 広報誌の発行・ホームページ運営・SNS 等による情報発信

社協広報誌「ほほえみ」の発行（年4回）やホームページ・Facebook・Instagramを運営し、地域福祉活動やボランティア活動の啓発と情報を発信した。

- ・第76号（6月1日発行）・・・令和6年度事業計画・会計収支予算他
- ・第77号（9月1日発行）・・・赤い羽根共同募金、令和5年度事業報告・会計収支決算他
- ・第78号（12月1日発行）・・・能美市社会福祉大会、石川県社会福祉大会他
- ・第79号（2月1日発行）・・・能美市社会福祉大会記念講演、歳末お見舞金贈呈他



ホームページ



Facebook



Instagram



⑦ 交流を中心としたふれあい福祉事業

交流を中心としたふれあい福祉事業や福祉専門職の資質向上のための交流研修を実施し、地域における「福祉意識」を盛り上げると共に、専門職の力を地域で活かすように働きかけた。

1	聴覚に障がいのある方のつどい 「福耳ネット」 ※耳が聞こえにくい方のつどいの場と、仲間づくりの活動を支援	年間 12 回 第 4 水曜日 寺井地区公民館 8 名（会員） 延べ 46 名	障害者サービスについての情報交換 「福耳サポート隊」が協力  みんなで楽しく クリスマスの飾り を制作しました。
2	視覚に障がいのある方のつどい 「ぬくもりサロン」 ※視覚に障がいのある方のつどいの場と、仲間づくりの活動を支援	① 9月26日(木) ふれあいプラザ 7名 ② 10月24日(木) 安宅住吉神社 うみの駅「安宅の関」 8名 ③ 11月15日(金) ふれあいプラザ 6名 ④ 12月13日(金) ふれあいプラザ 5名	交流や障害者サービスにかかる 情報交換 「ボランティアほおずき」が協力  晴天に恵まれ、 安宅住吉神社周辺 を散策しました。
3	ふれあい福祉交流会 ※多様な方々とのふれあい交流 や、スポーツ実施による体力増 進活動を支援 第 4 次地域福祉活動計画 ここに寄り添い合う人づくり委員会 と社協が合同主催	11月9日(土) 辰口福祉会館 参加者 165 名	当事者団体や協力ボランティア 団体等と企画運営を協議 3 種類のユニバーサルスポーツ 体験やその他 レクリエーシ ョンコーナー を設置し交流 
4	「ここに寄り添い合う 人づくり講座」 第 4 次地域福祉活動計画 ここに寄り添い合う人づくり委員会 が主催 ※①(5頁掲載)「春 まち ほかほか プロジェクト」に おいて開催。	① 2月22日(土) ふれあいプラザ 74 名 ② 年間 4 回	①障がいのある方の思いを聴き、 ここに寄り添い合う意識づく りの機会として開催 ②放課後児童クラブへ共生理解に つなげる読み聞かせと放課後児 童クラブと放課後等デイサービ スに通う児童がボッチャ体験を 通して交流

⑧ 福祉団体や福祉活動グループの活動支援

福祉団体、福祉活動グループの組織活動を支援し、市民や団体の会員相互のふれあい交流事業や福祉のまちづくり活動への働きかけ、福祉意識の醸成を図った。

- ・老人クラブ連合会の支援（市連合会と3支部の事務局担当）
- ・身体障害者福祉協議会の支援（市協議会と3支部の事務局担当）
- ・母子寡婦福祉連合会の支援（事務局担当）
- ・民生委員児童委員協議会の支援（市協議会と3地区の事務局担当）
- ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほかほか会」の支援（事務局担当）

市民提案型協働事業として、根上・寺井・辰口地区ごとに毎週 1 回少し虚弱な高齢者のミニデイサービスを実施している地域のボランティアである、まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほかほか会」の活動を支援しています。

「ほがらか会」実績

会場（開催曜日）	開催数	利用者数（延べ）	ボランティア数（延べ）	場所
根上会場（毎週木）	48回	338名	206名	老人福祉センター「白寿会館」
寺井会場（毎週金）	48回	268名	97名	能美市地域共生交流館
辰口会場（毎週火）	48回	171名	96名	辰口福祉会館・岩内 CC 館
合計	144回	777名	399名	

※令和6年能登半島地震により辰口福祉会館が二次避難所となったため、R6年7月末まで岩内 CC 館で実施。

- ・のみ社会福祉法人連絡会の参加と事務局支援
「のみ社会福祉法人連絡会」は、市内10社会福祉法人で組織。地域課題の改善や解決をめざす地域福祉の担い手として、各法人や行政、他機関と連携・協働して各事業に取り組んだ。
- ① 会議 定期総会及び市長による講演会：1回
幹事会：隔月（6回/年）・取組み事業の検討等
職員研修にかかる専門委員会：随時開催（6回/年）
ふれあい弁当にかかる専門委員会：随時開催（3回/年）
- ② 事業・共生社会実現のための啓発：オリジナル T シャツの着用
・福祉教育の協力：ジュニアボランティアクラブの講師や体験の指導
・春 まち ほかほか プロジェクト協賛にて「法人連絡会の取り組み」パネル展示
Instagramでの情報発信（法人の活動紹介等・職員紹介等）
“福祉の魅力”をテーマとした川柳の募集
・職員研修：研修会の企画及び実施
第1回「視野を広げてつながろう！SDGsクロスゲームを通して地域を知ろう」
第2回「法人と地域のつながり 法人ができる情報発信 地域貢献について考えよう」
・ふれあい弁当：地域の高齢者や子育て中の世帯等の弁当調理を担った。
・フードドライブの実施及び社会福祉協議会への食品寄贈
・相談会の実施：偶数月第3木曜日に法人の専門性を活かした相談会を開催

Ⅲ 地域の支え合い体制づくりの推進

⑨見守りネットワークの構築

⑨-1 地域福祉委員会の活動支援

市内では各町会・町内会単位で地域・地区福祉委員会が設置され、一人暮らし高齢者や障がいのある人など、支援を必要とする人が安心して暮らせるように、地域住民で見守り、支援する活動を行っている。社会福祉協議会では、地域福祉委員会活動ヒント探し講座を開催し、地域・地区福祉委員会の活動を支援している。

- ①地域・地区福祉委員会への活動支援 設置数……91ヶ所

根上地区設置数・・・21ヶ所	（平成28年度に市内全町（内）会に設置されました。）	地域・地区福祉委員会開催回数	559回
寺井地区設置数・・・23ヶ所			
辰口地区設置数・・・47ヶ所			
- ②各町会・町内会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、連絡・調整等の支援をすすめた。

各地域・地区福祉委員会へCSWが出向いた回数	168回
------------------------	------
- ③地域の課題を持つ人にかかわる地域の支援者の後方支援を行い、地域づくりをすすめた。また、日常生活の困りごとのニーズ把握や解決に向け関係機関や地域と連携を図り、地域との関係づくりに取り組んだ。

支援した回数	92回
--------	-----

地域福祉委員会活動ヒント探し講座の開催

講座名	受講者実績	実施期日・回数	会 場
基礎編 (全 4 回)	31 町(内)会より 73 名が受講。修了者を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 (令和 6 年度登録者数 55 名、累計 482 名) ※受講者 73 名中、18 名は既に登録済み	8 月 29 日～ 11 月 7 日	① 寺井地区公民館 ② 各町(内)会で実習 ③ 各町(内)会で実習 ④ 寺井地区公民館
	【講座内容】 ① 開講式 講義 『能美市の現状と支援体制を知ろう！』 ・能美市の現状と支援体制について 能美市いきいき共生課 ・総合相談窓口の機能について 根上・寺井・辰口あんしん相談センター ・地域の支え合い活動の支援について 能美市社会福祉協議会 事例紹介 『地域福祉委員会の色々な組織体制や活動を知ろう！』 グループワーク ② 講義 『地域福祉委員会における住民流支え合いマップ作りの目的とその手法を学ぶ』 『DVDを通して、実際にどのように住民流支え合い マップを作っているのか見てみよう！』 ③ 実践 『わが町で住民流支え合いマップづくりを実践してみよう！』 ④ 発表 『地域福祉委員会を開いてみて見えてきたこと・感じたことについて』 道林町地域福祉委員会 小杉町地域福祉委員会 和気町地域福祉委員会 グループワークと閉講式		
充実編 (全 3 回)	地域福祉委員会活動推進員のいる 3 地域・地区福祉委員会が受講・ (福島町、寺井町横町、火釜町)	8 月～12 月 期間中	各町(内)会の公民館 ふれあいプラザ
	ヒント探し講座【充実編】では、地域の実情に合せた地域・地区福祉委員会活動が、より充実した見守り・助け合いのしくみづくりにつなげていけるよう、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）と共に実践活動へとつなげていくことを目的に開催。  【講座内容】 ① 実 践 『どんなしくみで助け合いができるだろう？ ～CSW と共に実践活動をしてみよう！～』 ② 実 践 『自分たちのペースでできることからはじめよう ～CSW と共に地域づくりをスタートしよう～』 ③ 修了式 受講町会の取組みについて、情報共有しよう！（12 月 13 日）		
活動推進 会議 (全 2 回)	充実編を終了した 84 地域・地区福祉委員会を指定。 （根上地区）赤井町・西任田町・五間堂町・中庄町・福岡町・西二口町・ 中ノ江町・高坂・根上町・下ノ江町・下ノ江サントウン・浜開発町・ 大成町・福島町・吉原町・大浜町・中町・浜町・道林町・山口町 （寺井地区）寺井町・寺井町横町・寺井町山道・寺井町中町・寺井町北町・九谷町・ 小長野町・大長野町・小杉町・末信町・牛島町・佐野町・泉台町・ 湯谷町・秋常町・新保町・粟生町・吉光町・東任田町・緑町 （辰口地区）和佐谷町・岩本町・灯台笹町・大口町・宮竹町・三ツ口町・長滝町・ 筋生町・岩内町・火釜町・来丸町・山田町・三ツ屋町・倉重町・ 辰口町・湯屋町・下徳山町・上開発町・下開発町・徳久町・荒屋町・ 高座町・下清水町・上清水町・北市町・和気町・和光台・寺畠町・ 舘町・金剛寺町・坪野町・鍋谷町・仏大寺町・緑が丘・緑が丘 1・ 緑が丘 2・緑が丘 3・緑が丘 4・緑が丘 5・緑が丘 6・緑が丘 7・ 緑が丘 8・緑が丘 9・緑が丘 10・松が岡 ※11P へ続く。		

活動推進 会議 (全2回)	★活動推進会議指定地域・地区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、福祉推進員の他、地域福祉に関わる地域住民に参加をよびかけた。
	①地域福祉委員会活動連絡会の開催 町会・町内会長を委員長とする地域（地区）福祉委員会関係者に対し、地域福祉活動の必要性について理解促進を図り、地域での見守り・助け合い活動をすすめることを目的として、市・町会連合会と共催し「地域福祉委員会活動連絡会」を開催した。 実施日時：6月25日(火) 19時～20時30分 実施会場：寺井地区公民館 大ホール 内 容：能美市における地域福祉委員会の取組みについて工夫して活動している事例を紹介し、理解を深める。 参 加 者：186名
	②地域福祉セミナーの開催 「見守り・助け合い推進委員会」が主催 実施日時：2月24日（月・振休）13時30分～15時 実施会場：辰口福祉会館 交流ホール 内 容：「地域福祉委員会活動ヒント探し講座」を受講し、活動を通して見えたことや気づきにつながったこと等を受講町会より、報告いただき、これからの地域づくりについて、「自分たちができる見守り活動」を考え合う機会とした。 参 加 者：会場119名 ※（5頁掲載）「春 まち ほかほか プロジェクト」において開催。

⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援

福祉推進員連絡会において研修の機会を企画し、その活動を支援した。

【福祉推進員：根上地区32名 寺井地区41名 辰口地区51名】 計124名

- 福祉推進員連絡会 1回 ※「見守り・助け合い推進委員会」が主催
小地域での助け合い活動の担い手である福祉推進員の一人ひとりが、見守りや助け合い活動についてできることを考え合い、住民同士のつながりづくりの大切さについて学ぶ機会とした。

日 時：2月24日（月・振休） 13時30分～15時

会 場：辰口福祉会館 交流ホール

テーマ：「つなげよう声かけ合って地域の輪

～自分ができる見守り助け合い活動って何だろう～」

- ・見守りポイントリスト（改訂版）報告

- ・見守り助け合い活動事例紹介

（福島町、寺井町横町）

参加者：41名



⑨-3 いきいきサロン等の活動支援

町(内)会単位で行われている高齢者等の閉じこもり予防や見守りの場に、いきいきサロン等の活動費の助成や研修会の開催、講師を紹介するなど、必要な支援を行った。

・いきいきサロン等の活動実績

根上地区	設置数 20 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 316回 4, 174名 1, 156名
寺井地区	設置数 22 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 468回 5, 416名 1, 385名
辰口地区	設置数 37 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 371回 4, 772名 1, 064名
いきいきサロン等活動費の助成総額 3, 283, 100円 (財源は、市社会福祉協議会会員会費)		

・いきいきサロンボランティア研修会

いきいきサロンにおけるボランティアが一堂に会し、サロン活動における基礎的な知識を深め、参加者同士が交流し情報交換することで、今後更なるサロン活動の充実につなげる機会として開催しました。

日 時：3月13日(木) 10時～11時30分

会 場：寺井地区公民館 大ホール

内 容：①オリエンテーション

『能美市の現状といきいきサロン活動について』 能美市社会福祉協議会

②研 修 『いきいきサロンのレクリエーションを楽しもう!』

日本レクリエーション協会 レクリエーションインストラクター 中嶋 佳奈恵 氏

③意見交換 『自分たちの活動について、語り合いましょう!』

④事務連絡 『いきいきサロン活動への支援について』 能美市社会福祉協議会

参加者：86名

⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援

一人暮らし高齢者の社会参加の外出の機会として、地域(地区)福祉委員会等が実施する「一人暮らし高齢者昼食会」及び「おでかけサロン」に対し、その費用の一部を助成した。

事業名	助成額	実施町(内)会 (開催回数)	参加者数
一人暮らし高齢者昼食会	対象者1名あたり 700円を助成	38町(内)会	249名
おでかけサロン	1町(内)会 7, 500円を助成	37町(内)会 (59回)	延べ1, 141名

※要綱改正により、令和6年4月1日から12月31日までの実績数

⑨-5 ふれあい弁当の実施

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障害者世帯等に対し、のみ社会福祉法人連絡会会員法人が調理協力する夕食用の「ふれあい弁当」を民生委員・児童委員や福祉推進員が配達することにより、安否の確認と孤独感の解消及び地域で気にかかる方を見守るための訪問の機会につなげた。(1名につき、月2回まで利用可)

【対象者】 満75歳以上一人暮らし高齢者等

【利用料】 1食200円

【実施回数】 24回×3地区=72回

根上地区	利用実人数	20名	延べ提供食数	369食
	延べ協力ボランティア数	162名		
	調理協力	(第1)(社福) 泰耀	(第3)(社福) なごみの郷	
寺井地区	利用実人数	12名	延べ提供食数	195食
	延べ協力ボランティア数	148名		
	調理協力	(第1・3)(社福) 南陽園		
辰口地区	利用実人数	14名	延べ提供食数	244食
	延べ協力ボランティア数	149名		
	調理協力	(偶数月)(社福) 陽翠水	(奇数月)(社福) 佛子園	
・中学生のボランティア活動として弁当を配達する「ふれあい訪問」を実施。 寺井地区 11月6日(水)(もみじ弁当)35名 辰口地区 3月5日(水)(ひな弁当)28名				

⑨-6 子育て応援弁当の実施

産前・産後2ヶ月までの方がいる核家族世帯に対し、主任児童委員が「子育て応援弁当」(のみ社会福祉法人連絡会会員法人の調理による)を配達し、子育てを地域で応援した。(原則1世帯3食まで)

【対象者】 産前と産後2ヶ月までのママとその家族(原則 核家族で祖父母等の支援を受けられない方)

【実施回数】 第1～4水曜日、第2・4金曜日 毎月6回(年間70回)

【利用料】 1食250円 3食目350円

・利用実績	延べ提供食数	632食
	利用実人数	32名

⑨-7 音訳テープの提供

音訳ボランティア(音訳ボランティアたんぽぽ)が作成した、広報誌等の音訳テープを、視覚に障がいのある人に届け、正確な情報の提供に取り組んだ。

各図書館に音訳テープを設置

・市広報誌「広報のみ」 ・市議会だより「のみだより」 ・社協広報誌「ほほえみ」

⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援

一人暮らし等の高齢者の地域での孤立を防ぐため、傾聴ボランティアが高齢者の自宅へ訪問し、話を聞くことで安心感を持ってもらう。

- ・傾聴ボランティアを高齢者宅へ派遣

【利用者】 5名(一人暮らし又は日中独居の高齢者)

【訪問回数】 年間26回(月1回を基本)

【実施場所】 利用者の自宅



“傾聴”の意見交換会を開催

- ・傾聴ボランティア連絡会「うなづき」の連絡会と専門研修を支援(事務局担当)

【登録者】 傾聴手法を学んでいる19名

【連絡会】 年間 6回(2ヶ月に1回) 内2回は専門研修

【開催場所】 ふれあいプラザ

⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援

町会・町内会や壮年団、婦人会、民生委員・児童委員、ボランティア、郵便局、防災士などが集まり、災害時において各団体が地域の課題や被災状況等の情報共有を図り、被災者への支援活動を円滑にすすめる為に、平常時から情報交換や、連携を深めることを目的とする「能美市民防災ネットワーク」の活動を支援した。

【委員会】 7回

- ・ 9月29日（日）第17回能美市民ボランティアフェスティバルに参加
- ・ 10月20日（日）能美市防災フェスタ 2024に参加
- ・ 2月23日（日・祝）研修会（春 まち ぽかぽか プロジェクト）

内容：被災者の方を招いて、能登半島地震の現状や災害時の関わり方についてのパネルディスカッション

テーマ：「災害支援の“これまで”と“これから”」

〈パネリスト〉 田中 悦郎 氏 （ 珠洲市 ）
橋本 豊美 氏 （ 〃 ）
欠 富美子 氏 （ 〃 ）



能登半島地震に関わる、多くの課題や思いを話されました。

⑩ 生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み

⑩-1 生活支援コーディネーターの配置

地域における生活課題の把握を行ない、課題解決に向けたネットワークや社会資源の構築を目的に、生活支援コーディネーターを7名配置。（兼務）

- ・ 第1層生活支援コーディネーター（市全域） 1名
生活支援コーディネーターによる課題解決のための多様なネットワークづくりと資源開発
- ・ 第2層生活支援コーディネーター（中学校区） 6名
生活支援コーディネーターによる地域課題の把握、助け合い活動の推進

【会議】

- ・ 地区別 2層生活支援コーディネーター会議 9回
- ・ 第1・2層生活支援コーディネーター会議 4回

＊市主催の会議に参加 2回
強い互助づくりの支援体制構築専門部会
（第1層生活支援サービス推進協議体）

⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）

- ・ 令和元年度より、町（内）会（地域福祉委員会）の買い物・外出支援の活動を対象に、能美市商工女性まちづくり研究会所有の8人乗り乗用車を本会が借受け、貸出事業を開始した。
- ・ 令和3年度より、能美市から生活支援車両5人乗り乗用車の運営を受託し、合わせて2台を貸出した。
- ・ 令和6年1月より、能美市商工女性まちづくり研究会の活動停止に伴い、能美市商工女性まちづくり研究会所有の8人乗り乗用車を本会に寄贈していただいた。

【貸出先】 栗生リンクの和、特定非営利活動法人えんがわ、火釜町きまっしーの会

【貸出実績】 73回

【延べ利用者】 266名

⑩-3 フードドライブの実施

生活困窮や支援を必要な子育て世帯等への支援としてフードドライブを実施した。寄付された食品は、フードパントリー等を通じて、支援を必要としている方や子ども食堂等へ渡した。

【実施回数】 4回 ※9月29日は、(22頁掲載) 能美市民ボランティアフェスティバルに併せて開催。
【実績】 ※3月2日は、(5頁掲載)「春 まち ほかほか プロジェクト」に併せて開催。

	期 日	受付会場	個数(個)	重さ(kg)
1回	7月25日～8月8日(木)	能美市社会福祉協議会窓口	328	161
2回	※ 9月29日(日)	根上総合文化会館	236	118
	10月19日(土)	ふれあいリサイクルセンター	153	469
3回	12月7日(土)・8日(日)	寺井地区公民館	461	245
4回	※ 3月2日(日)	寺井地区公民館	423	145
その他	随 時	能美市社会福祉協議会窓口	2,996	1,741

⑪ 同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援

	活 動 名	期 日	会 場	参加者等
介護等 に関して	ほっとあんしんサロン 心の悩みなど、日頃の思いを 気軽に語り合う場 ※能美市介護を考える会の協力を 得て実施 【財源】共同募金	毎月第3火曜日 12回	ふれあい プラザ	142名
子育てに 関して	親子サロンとママ友相談 就学前の子どもや、その親・ 祖父母が気楽につどい、ふれあい や交流を深め、気軽に子育ての 相談などができるサロン ◎地域の公民館等で開催し、地域の誰か が参加出来る共生型サロンを目指す。 【実施回数】各地区週1回 ※スタッフとして有償ボランティアで実施	根上地区 水曜日 45回	西二口町 公民館 (コミュニティセンター)	553名 (276組)
		寺井地区 木曜日 45回	栗生 コミュニティセンター	446名 (208組)
		辰口地区 火曜日 46回	岩内 コミュニティセンター	341名 (166組)
	ミニ運動会(年1回)	5月29日(水)	寺井中央 児童館	56名 (18組)
	かえっこまーけっと みんなでリユース! ※親子サロンと同時開催	4月10・17・ 24日(水) 9月4・11・ 18・25日(水)	西二口町 公民館 (コミュニティセンター)	4月22名 9月47名 (延べ人数)
	絵本カフェ 	9月14日(土) 12月8日(日) ※2月24日 (月・振休) (のみんひろば)	ふれあい プラザ	78名 31名 127名

※2月24日(月・振休)は、(5頁掲載)「春 まち ほかほか プロジェクト」に併せて開催

⑫ ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営

ボランティア・コミュニティ活動支援センター事業を市民参画で進めるために、運営委員10名による運営委員会を開催した。

また、事業の企画運営を検討するために、センター登録団体3名による企画部会を開催した。

【実施回数】 運営委員会 3回 6月4日(火)、7月8日(月)、2月13日(木)
企画部会 1回 10月9日(水)

【内 容】 第1回 委嘱状交付式及びボランティア講座・役割の確認
第2回 ボランティアグループ活動助成の検討
第3回 ボランティアセンターの事業報告

⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入

ボランティアの登録及び相談斡旋をすると共にボランティア活動保険の保険料を助成し、その加入を推進した。

【登録実績】 85グループ 2,907名 (全てボランティア活動保険に加入)

【相談斡旋実績】

	幹 旋 先 ボランティア活動内容	町(内)会・ いきいき サロン	福祉 施設	保育 学校 関係	企業 団体 個人	その他	件数
1	ふれあいの場 イベント開催に関する活動	41	7	2	9	0	59
2	高齢者・障害者への支援に関する活動	0	1	0	2	1	4
3	子育て支援に関する活動	0	0	0	0	0	0
4	福祉教育(地域や学校に出前)に関する活動	0	0	29	2	0	31
5	文化・伝承活動に関する活動	0	0	0	0	0	0
6	環境保全活動に関する活動	0	0	0	0	0	0
7	国際交流活動に関する活動	0	0	0	0	0	0
8	防災活動に関する活動	1	0	0	0	3	4
9	健康促進に関する活動	4	0	0	1	0	5
10	その他	7	0	5	6	4	22
合 計		53	8	36	20	8	125

【登録一覧】 (活動分野別)

高齢・障がいのある人の支援	団塊世代仲間生活・買物支援	芸能	絵手紙	読み聞かせ	環境	子育て支援	交流	更生保護	その他	合計
20	4	25	2	4	8	8	4	3	7	85

【能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター登録グループ一覧】

令和7年3月31日現在

No	分野	グループ名	活動の内容
1	介助	JA能美 ボランティアグループ	福祉施設でシーツ交換などの協力をしています。
2	介助	げんきかい	福祉施設でのサポートやアロマハンドマッサージによるふれあい交流をしています。
3	介助	寺井民児フレンドサークル	古切手、古木綿布、タオル、石鹸等を収集し施設へ届けています。 イベント応援もしています。
4	介助	能美市笑いヨガ倶楽部	福祉施設やいきいきサロンで笑いヨガによるふれあい交流をしています。
5	介助	ヘルスケアJA根上女性部	福祉施設でのシーツ交換のほか、傾聴ボランティア、各種イベントのお手伝いをしています。
6	介助	まだまだ元気な高齢者 サポートグループ 「ほがらか会」	市民提案型協働事業「ほがらか会」（閉じこもりを防ぐミニデイサービス）を行っています。
7	介助 環境	ちぐさグループ	福祉施設や地域のいきいきサロンでのふれあい活動や、環境保護活動として「ぼかし」の製造販売をしています。
8	介護 介助	NPO法人 「たすけ愛」ほっと	地域福祉活動や地域のイベントでの参加者の介助の手伝いをしています。
9	介護 防災	能美市赤十字奉仕団 チーム20	地域での認知症についての理解講座や高齢者向けレクリエーション指導をしています。また、小・中学校での福祉体験学習に協力しています。
10	介護 防災	ボランティアほおずき	福祉施設での話し相手、給茶サービス、ビューティケア、救急法、健康生活支援講習、災害ボランティアの研修などを行っています。
11	手話	手話サークル 虹	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
12	手話	手話サークル ゆず	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
13	手話	手話サークル めだか	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
14	要約 筆記	能美要約筆記サークル みみずく	聴覚に障がいのある方のコミュニケーション支援と社会参加を支援しています。研修会や講演会、イベントなどで活動しています。
15	音訳	能美市音訳ボランティア たんぽぽ	3地区の音訳グループが協力して、広報誌を音訳し、テープに録音しています。
16	点訳	点訳グループ 双六	点訳友の会に所属して図書の点訳をしています。小・中学校の福祉体験にも協力しています。
17	団塊世代 仲間	シニア大楽	シニアからのセカンドライフを心豊かに過ごす趣味や生きがいづくりを通じた仲間づくりの活動をしています。
18	買物支援	認定NPO法人えんがわ	毎週、ふれあい市を開店し地元を中心に販売、買い物支援を実施。また冒険の森の伐採、公園清掃などを行っています。
19	生活支援	たすけあい・ライフ サポーター「えがお会」	たすけあい・ライフサポーター活動支援講座を修了し、支援を必要とする高齢者と温かなコミュニケーションをとりながら、自立に必要な家事支援を行っています。

高齢者・障がい者支援等

20	高齢者・障がい者支援等	生活支援	東レOB支援隊	東レのOBが集まり、高齢者の生活の支援サポートを行っています。
21		傾聴	能美市傾聴ボランティア連絡会 うなづき	傾聴技術を学び、心に寄り添った会話をすることで、高齢者に安心感を与えることを目的に訪問活動をしています。
22		相談	能美市介護を考える会	会員同士の思いを話し合い、お互いの心の支えとなることや、介護についての学習の場として学びあうことなどをすすめています。
23		配食	ふれあい弁当配達ボランティアグループ	ふれあい弁当事業の配達を行っています。
24		障害支援	福耳サポート隊	聴覚に障がいのある方々と交流しながら支援をしています。
25	芸能・生涯学習関連等	芸能	amitie' (アミティエ)	ギター演奏と歌を通してイベントでの活動を行っています。
26		芸能	アル・ソーレ	童謡や唱歌を通して、ふれあい交流を目的にイベント会場や福祉施設を訪問しています。
27		芸能	ウクレレサークル nomilele	ウクレレ演奏を通し、地域の福祉施設やイベントでの活動を行っています。
28		芸能	歌とマジックの会	歌とマジックを披露するを通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
29		芸能	オカリナ倶楽部九谷の風	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
30		芸能	オカリナ倶楽部 九谷まほろば	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
31		芸能	オカリナサークル さざなみ	市内福祉施設等でのオカリナの演奏を行っています。
32		芸能	オカリナ倶楽部 そよ風	市内福祉施設等でのオカリナの演奏を行っています。
33		芸能	オカリナ OSフレンズ	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
34		芸能	オカリナアンサンブル nominomi	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
35		芸能	オカリナはぴのみ	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
36		芸能	能美市お笑い演芸会	交流することを目的に、福祉施設などに訪問しています。
37		芸能	KONOHAWINDS	吹奏楽OBが集まり、演奏活動を行っています。
38		芸能	てらい愛唱会	歌で交流することを目的に、福祉施設に訪問しています。
39		芸能	根上歌謡会	懐かしい歌を楽しみながらふれあい交流を行います。福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
40		芸能	野花菖蒲たつのくち	民謡、歌謡曲、よさこいソーラン踊りなど、多種ジャンルから選曲し、イベントでの活動や福祉施設への訪問をしています。
41		芸能	能美市郷土芸能保存会	郷土の文化芸能を、子ども達へ引き継ぐ為に、伝承活動をしています。

42	芸能・生涯学習関連等	芸能	能美マジック教室	マジックや、歌、踊りなどを通じたふれあい交流を目的に、地域のいきいきサロン等に訪問しています。
43		芸能	響の会	歌や踊りでの交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
44		芸能	任意団体能美市福祉ボランティア かがやき姉妹	唄や寸劇を披露しふれあい交流することを目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンを訪問しています。
45		芸能	舞踊集団菊の会	踊りでのふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
46		芸能	手取川おわら風の会	郷土の踊りや四季の踊りなどを通じたふれあい交流を目的にイベントでの活動や福祉施設に訪問をしています。
47		芸能	手取民謡会	唄や踊りでふれあい交流を目的にイベントでの活動や福祉施設やいきいきサロンに訪問をしています。
48		芸能	唄仲間かがやき	唄でふれあい交流を目的にイベントでの活動や福祉施設やいきいきサロンに訪問をしています。
49		芸能	Blatt Ensemble	イベントや福祉施設等で演奏活動を行っています。
50		読み聞かせ	えほんファミリー	赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しんでもらえるパネルシアターやペープサート等で活動しています。
51		読み聞かせ	おはなしの会 トゥインクル	活動地域の主婦が集まりお話の読み聞かせ活動をしています。また、辰口図書館の活動にも参加しています。
52		読み聞かせ	さゆりの会	童話や昔話の読み聞かせ活動を通じて、ふれあい交流をしています。
53		読み聞かせ	和気小図書ボランティア	和気小学校図書館での本の読み聞かせ活動をしています。
54		絵手紙	苺の会	老人クラブの有志で絵手紙を作成しています。また、1ヶ月に2回ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
55		絵手紙	葉月会	季節を愛でた絵手紙を作成し、高齢者に送っています。また、ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
56	環境		いけ花あじさいクラブ	能美根上駅窓口コーナーなどへ、四季折々のいけ花を提供しています。また、福祉施設に訪問し、フラワーアレンジメントを教えています。
57			エコトライ寺井	環境ボランティア活動として、身近な環境問題の学習と実践活動をしています。
58			護美ワーキンググループ	生ゴミを肥料に使う野菜作りの普及や環境問題を中心にした活動をしています。
59			高坂・根上町緑を守る会	身近にある山林を守る保全活動を通じて、緑に対する関心を高めることをすすめています。
60			能美の里山ファン倶楽部	貴重な役割を担う里山の活性化のために、里山地域の住民が考え、広く市民に里山の魅力をアピールする活動をしています。
61			フレンズ	史跡や公共施設周辺の草刈りや樹木整備をしています。また、男性同士のふれあい仲間づくりをしています。
62			かが能美掃除に学ぶ会	公共施設（学校含む）のトイレの清掃活動を行っています。
63			どうぶつの守	希少生物や外来生物の調査を行っています。

64	子育て支援	青空自主保育 おひさまぼっこ	親子で自然とふれあい、親子同士の交流を図り集える場を開催しています。
65		こども食堂 I・RO・DO・RIひろば	不登校・相談室登校の児童・生徒が安心できる居場所作りや子ども・外国人などが一緒に食事できる場の提供をしています。
66		小松おやこ劇場	親子で心豊かに育ちあうことを目指し、舞台鑑賞、研修会、講師を迎えておはなし会を行っています。
67		三道山子ども食堂	食を通して、誰でもが集える場を目指して活動しています。
68		のみ♥子育てネットワーク	地域の子育てを応援する為に、人と人がつながるきっかけ作りとして年に数回イベントを開催しています。定例会では、自身の子育てを本音で語り合いながらイベントの企画を話合っています。
69		能美子ども食堂ネットワーク	食を通して、誰でもが集える場を開催しています。
70		能美美育ネットワーク	公共施設への花の生け込み活動や、児童作品展の開催、保育園・福祉施設での美育セミナー（お茶、お花）をしています。
71		応援ユニット タイガース	児童生徒の送迎支援をしています。
72	交流	粟生町歩歩笑美くらぶ	粟生町での多世代型交流として、カローリングや、街かふえを開催し、多くの方とのふれあい活動を行っています。
73		中庄町丸いも娯楽会	農業体験を通じて世代間交流、地産地消の大切さを伝えるために、丸いもの普及活動を行っています。
74		能美市国際交流協会	外国の方々との交流サロンや、日本語教室、ふれあいイベントを開催し、国際感覚を育み、共に暮らす地域づくりの活動をしています。
75		山ぼうしの会	使用済切手や書損じ葉書・ベルマーク等の収集整理活動をし、小中学校の教育支援や開発途上国の支援につなげています。
76	更生保護	辰口地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
77		寺井地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
78		根上地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
79	その他	民生委員 市民生委員児童委員協議会	地域福祉の推進役、地域における高齢・障害・児童育成の様々な支援活動を行っています。
80		防犯 辰口中央小学校見守り隊	辰口中央小学校の児童の登下校の見守りや交通安全指導などの見守り活動をしています。
81		学生ボランティア 寺井高等学校JRC部	フードドライブや各種イベントへの協力等、ボランティア活動しています。
82		健康啓発 能美・健康ワーキンググループ	市と連携し、健康づくりの活動に協力しています。地域のいきいきサロンにも訪問しています。
83		食育・配食 能美市食生活改善推進協議会	市栄養教室修了者で構成。市民の食生活改善及び健康推進の普及、研修会や検診時の試食製作、配食サービス弁当づくりに協力しています。
84		スポーツ 能美市レクスポクラブ	高齢者や障がいのある人の閉じこもり予防や、自立による社会参加の促進、レクスポでの健康増進や心のふれあい交流をしています。
85		交流 のみドローンくらぶ	ドローンを使用し、他世代間の交流体験会や、イベントでの撮影等への協力をしています。

12-2 ボランティア講座の開催

■ ボランティア人材育成事業（講座）

	事業（講座）名	実施月・回数	参加人数	内 容
①	ジュニアボランティアクラブ 	11～12月 全4回 	計21名 延62名	※小学生とその保護者を対象として、市内社会福祉法人の施設の職員から、施設での取り組みや体験活動の講師として協力してもらいました。   （社福）陽翠水の利用者の方とレクリエーションやeスポーツで交流を楽しみました。 活動の振り返りではボランティアで学んだことを発表しました。
②	中学生ボランティアチャレンジ体験  ～根上中学校～ 食品ロスの課題について理解を深め、フードドライブを実施しました。  ～辰口中学校～ 民生委員・児童委員の方と一緒に学校周りの清掃活動を行いました。	7月～11月  ～寺井中学校～ 認知症への理解を深め高齢者福祉施設で、サイコロトークで交流しました。  ～合同報告会～ 各学校の活動を聞き、次年度の活動へのヒントを得ることができました。		・根上中学校企画 「フードドライブボランティア」 ① 「フードドライブ」について学ぶ！（10/30） ② フードドライブの実施（11/18～11/20） ・寺井中学校企画 「コネクストNOMI」 ① 「認知症」について学ぶ！（11/15） ② 高齢者福祉施設の利用者とレクリエーションで交流しよう（11/19） ・辰口中学校企画 「辰口クリーンプロジェクト」（7/26） ・3中学校合同報告会（12/9） 各学校の取組をZoomで報告 ※生徒会が企画
③	高校生ボランティアチャレンジ体験   読み聞かせのコツを学び、練習を重ね、本番では上手に園児に読み聞かせを行い喜ばれました。	7月～9月   手話の基本を知り、手話うたを披露。会場が一体的になり、大盛況でした。	延61名	・【プログラム①】 読み聞かせでの保育園児との交流 講師：中田 紀子氏（7/22.23.26） ・【プログラム②】 ① 手話を通して障がいを理解しよう 講師：新田 照予氏、加藤 佳子氏（9/9） ② 能美市民ボランティアフェスティバルのステージで手話うたを合唱（9/29） ・【プログラム③】 能美市民ボランティアフェスティバルの運営スタッフ体験（9/29）

ボランティア活動に関心を持っていただけるように、年代層別に気軽に活動に参加できるような各種講座を開催した。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加人数	内 容
④	ボランティア活動 きっかけづくり講座 	2月23日 (日・祝) 1回	計25名	ボランティア活動を始めたい、興味がある方を対象に。市内でボランティア活動をしている団体の想いや、ボランティア体験を行い、活動始めるきっかけ作りを行いました 協力ボランティア団体 ①山ぼうしの会 ②能美市赤十字奉仕団チーム20 ③三道山子ども食堂
	活動の体験談		ベルマーク収集整理 体験の様子	

⑫-3 能美市民ボランティアフェスティバルの開催

市内の福祉・環境・健康・生活と多岐にわたるボランティア活動に取り組んでいるグループや個人が一堂に会し、その活動を広く市民に情報発信するボランティアフェスティバルを市民による実行委員会形式で開催した。

【実施期日】9月29日（日）【実施場所】根上総合文化会館

【参加団体】72団体

【参加人数】約800名

【内 容】9時50分～

オープニング ～チビっ子丸谷太鼓～

10時20分～

第17回能美市民ボランティアフェスティバル開会宣言

ふれあいイベント

活動展示・体験・飲食販売コーナー・スタンプラリー

10時40分～

ふれあいステージ開始

13時45分～

ゆめぼらコンサート ～寺井高校吹奏楽部～

14時15分～

おたのしみ抽選会

14時45分～

第17回能美市民ボランティアフェスティバル閉会宣言



みんなで能登を応援!!



どのコーナーも人がいっぱいでした。



高校生ボランティアはスタンプラリー
中学生ボランティアはスーパーボールコーナーを手伝いました。



『君の笑顔』手話を用いて全員で
合唱しました。

⑫-4 ボランティアグループ活動支援(助成金)

ボランティアグループ活動団体の活動を推進するために助成した。

【対 象】市ボランティア・コミュニティ活動支援センターに登録し、市ボランティア連絡協議会に加入した、次に該当するグループ

●活動実績が1年以上 ●会員数が5名以上 ●月1回以上の継続活動

No	申請グループ名	助成額(円)	助 成 内 容
①	寺井民児フレンドサークル (T・M・F・C) 代表 井上 徹 平成19年設立(18年目) 会員数 17名	20,000	市内での福祉イベントの際の補助や助け合い活動に向けた研修会に助成。
②	護美ワーキンググループ 代表 茂藤 貞子 平成13年設立(23年目) 会員数 16名	50,000	生ごみを堆肥化して行う野菜づくりを普及し、ごみ削減と環境問題の啓発活動を行う。堆肥づくりに必要な内城菌の購入に助成。
③	辰口地域更生保護女性会 代表 面 啓子 昭和35年設立(65年目) 会員数 89名	20,000	更生保護施設での奉仕活動や辰口地区校下の見守り活動を行う。活動時に必要な消耗品等を助成。
④	てらい愛唱歌 代表 袋 佳子 昭和54年設立(46年目) 会員数 9名	43,000	イベントや地域行事に出向き、歌による交流を図っている。活動に使用する消耗品や、会の技術向上に向けた練習にかかる経費に助成。
⑤	オカリナ倶楽部 九谷まほろば 代表 本佐 盛明 平成27年設立(10年目) 会員数 20名	50,000	福祉施設やイベント等でのオカリナ演奏を通して協力。その活動時に必要なユニフォーム等の購入助成。
⑥	粟生町歩歩笑美くらぶ 代表 浅井 一美 平成29年設立(8年目) 会員数 19名	20,000	町会での世代間交流として街カフェ等を実施している。カフェで使用する消耗品や燃料費等に助成。
⑦	中庄町丸いも娯楽会 食育グループ 代表 本 忠儀 平成25年設立(12年目) 会員数 35名	20,000	丸いもの植え付けから収穫までの体験を児童等と行い、食育活動に取り組んでいる。活動の際の種子等の消耗品に助成。
⑧	青空自主保育 おひさまぼっこ 代表 橋場 規代 令和元年設立(6年目) 会員数 37名	50,000	地域の自然を活用した自然教育につながる活動や、親の子育て支援を行っている。活動に使用する消耗品に助成。
⑨	のみ♡子育てネットワーク 代表 清水 奈津美 平成13年設立(24年目) 会員数 67名	50,000	子育て支援に関する勉強会やイベントを企画し、母親の支援を行う。活動に使用する日用品費や研修会等での謝礼金に助成。
合 計		323,000	

⑫-5 福祉協力校の活動支援

市内全小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、児童・生徒の福祉教育学習への取組やボランティア活動への理解を深める取組に対して助成し、活動を支援した。

- ・活動助成金交付 6小学校（2校は県社協指定校）、3中学校、1高等学校
- ・福祉協力校の福祉体験活動支援

福祉体験についての相談を受け、指導者や協力者を派遣や、訪問先施設、団体との連絡調整を行うなど、福祉協力校が行う福祉学習・体験を支援した。

【社会福祉協議会が把握した活動回数】 73回(学年はクラス単位)

【社会福祉協議会が把握した体験者数】 延べ3,058名

- ・福祉協力校活動連絡会

福祉教育の更なる充実を図るために、学校と地域のボランティア活動者や福祉施設職員等との情報や意見交換を行うことで、連携を深め、福祉教育の幅を広げる機会とする。

【参加者】福祉協力校担当教諭14名、ボランティア活動者13名、福祉施設職員11名 計38名

【実施日時】令和6年8月7日（水） 14:00～16:00

【実施場所】寺井地区公民館 2階 大ホール

【内容】講演

「福祉教育実践と地域との協同～サービスラーニングの視点から～」

講師：日本福祉大学社会福祉学部 教授 野尻 紀恵 氏



⑫-6 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援

市内で活動しているボランティアの相互の情報交換、交流などを行う市ボランティア連絡協議会の活動費を助成し、役員会や研修会を支援した。

- ・能美市ボランティア連絡協議会の活動の事務局を担当し支援した。
分野別研修会 91名参加、会員研修会 56名参加、他に総会、役員会(毎月1回開催)などを開催

⑫-7 ボランティア情報発信

- ・ボランティア情報誌「ボラ♥はあと」を年2回(43号、44号)発行した。
- ・ボランティア団体の活動状況や活動紹介「ボランティアだより」を毎月1回、ボランティアコミュニティ活動支援センターのホームページに掲載した。
- ・ボランティア・コミュニティ活動支援センターのホームページを随時、更新した。

HP アドレス <http://www.nomi-shakyo.jp/vc>



HP はこちらから



⑫-8 ボランティア器材の貸出し <用品一覧>

【貸出実績】 150件（目的は、次のとおり）

・町会行事のふれあい行事（いきいきサロンを含む）	94件
・学校等での福祉体験	5件
・ボランティアグループのふれあい活動	18件
・本会の正会員、賛助会員である福祉施設	21件
・その他関係機関、福祉施設、個人への貸出し（車椅子含む）	12件

【貸出用品一覧】

番号	貸出用品	貸出数量
①	車いす	14
②	点字器(携帯型)	81
③	アイマスク	19
④	高齢者擬似体験セット (ジュニア用)	2
⑤	プロジェクター	1
⑥	CD ラジカセ	2
⑦	スクリーン	2
⑧	ビデオ・DVD デッキ	2
⑨	視聴用ビデオテープ・DVD	多数

番号	貸出用品	貸出数量
⑩	ポップコーン機	3
⑪	かき氷機	3
⑫	綿菓子機	3
⑬	たこ焼き機 ※	1
⑭	レクリエーション用品 (屋内用) 巨大ジェンガ、ボーリング、 ビンゴ、玉入れ、輪投げ、 ストラックアウト、ポッチャ、 羽根っ子ゲーム等	多数
⑮	図書(福祉教材)	多数
⑯	サンタ衣装	3



※使用するには、200V の
三又コンセントの接続口
が必要となります。

⑫-9 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが窓口の収集物について

【収集物の使途及び実績一覧】

収 集 物	収集取り扱い団体	使 途
プルタブ  緑が丘町会より、多くの寄付を頂きました。(プルタブ贈呈式の様子)	能美市社会福祉協議会	令和6年度 集めたプルタブは、 合計約 145 kg 市内のボランティアグループ、企業、保育園、市民の皆様からたくさんのご寄付をいただいております。プルタブは、金属廃品回収業者に買いとってもらい換金し、福祉用具購入のために積立している。 (★約650 kgで車椅子1台が購入できる。)   
エコキャップ	能美市社会福祉協議会	集めたエコキャップを株式会社日本開発様へお渡しし、認定 NPO 法人「世界の子どもワクチンを日本委員会 (JCV)」を通して子どもワクチン支援に充てられる。(エコキャップ 2 kgがワクチン1人分)

集めているもの	収集整理している団体	送付	どんなことに役立つの？
ベルマーク 	ボランティアグループ 山ぼうしの会 使用済み切手は、 消印が残るように 切り取ってね！ 	ベルマーク教育助成財団 	ベルマークは、整理、計算して財団に送ると1点が1円に換算。学校の教材備品を購入。また、教育援助活動に使われる。
使用済インクカートリッジ (キャノン・エプソンのみ)		キャノン・エプソン	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。 用途は、上記の通り。
使用済み切手 書き損じハガキ プリペイドカード		・公益財団法人 ジョイセフ(東京都) ・特定非営利活動法人 「誕生日ありがとう 運動本部」(神戸市)	・アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動(予防接種や保健師の活動)の助成に使われる。 ・障がい者問題に取り組む福祉活動に使われる。

○収集ボックスの設置について

老人福祉センター「白寿会館」、(社福)陽翠水 G-Hills、ふれあいプラザ

Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営

⑬ 高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口

高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口である寺井あんしん相談センターの運営を能美市より受託し、下記の業務を行った。

- ・高齢者福祉制度、サービス及び介護・認知症に関する相談
- ・地域とのネットワークづくり、介護予防の普及啓発
- ・権利擁護に関する相談

	内 容	件 数
1	実態把握（延）	3, 0 1 1 件
2	地域活動支援（地域福祉委員会の出席等）	1 3 1 件
3	運営推進会議出務	2 0 件
4	出前講座・認知症サポーター養成講座開催	9 件
5	ケアプラン会議開催	8 8 件
6	地域ケア会議開催	8 7 件
7	権利擁護に関する相談・対応	1 2 5 件
8	連絡調整業務（介護保険の申請手続き等）	4 5 0 件

- ・介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアプラン作成

	内 容	件 数
1	介護予防支援（直営）	2 9 6 件
2	介護予防支援（委託）	6 5 5 件
3	介護予防・日常生活支援総合事業（直営）	2 9 8 件
4	介護予防・日常生活支援総合事業（委託）	1 5 2 件

- ・高齢者や障がいのある方、生活困窮等複合的な課題を抱える世帯に対し、サービス事業所や必要な相談窓口等につなげ、その世帯を包括的に支援する調整を行った。
- ・各相談支援機関と連携を図り、解決に向けて協議するケース会議の開催・参加を行った。

	内 容	件 数
1	障がい者の相談（延） ※64 歳以下	1 9 1 件
2	生活困窮の相談（延）	4 3 件
3	支援チーム会議参加 地域ケア会議開催	3 件

※根上地区は「能美市立病院」、辰口地区は「（社福）陽翠水」が、各地区あんしん相談センターを受託している。

V くらしサポートセンターのみの運営

⑭ 生活困窮者自立相談支援事業(食糧支援含む)

- ・社会的孤立や経済的に困窮する恐れのある方が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々に応じた包括的かつ経済的な相談支援を実施する。
- ・必要に応じて個別プランを策定し、目標達成に向けて支援を実施する。
- ・地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的とする。

【相談実件数】 518件
 【相談延べ件数】 1,164件
 【プラン件数】 24件（継続12件、新規12件）

・家計改善支援

家計状況の見える化と根本的な課題を把握し、自ら家計を管理できるように状況に応じた支援プランを作り、早期の生活再生につなげていくことを目的とする

【プラン件数】24件（継続12件、新規12件）

・食糧支援

【パントリー開催】 7回（内3回学習応援パントリー）

【生活困窮者個別支援】（事業所等からの個別支援依頼含む） 575回

【団体への配布】

団体名	配付回数
能美市内子ども食堂	11回
能美市国際交流協会	11回
行政（福祉課、健康推進課他）	16回
その他	8回
合 計	46回

⑮ 福祉サービス利用援助事業

判断能力の乏しい高齢者や障がい者等の権利を擁護することを資することを目的として、それらの方が自立した地域生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援をする。

【対 象 者】利用対象者は判断能力が十分でない方で以下のとおり

- ・もの忘れのある高齢者（認知症高齢者）
- ・知的障がいのある方、精神に障がいのある方等

【サービスの内容】

- ・日常的な金銭管理の援助
 ＊医療費、電話料、税金などの支払い＊年金や福祉手当の受取り等
- ・大切な書類などの預かり
 ＊年金証書、不動産権利書、保険証書などの保管等
- ・日常生活に必要な手続きの援助
 ＊住民票の届出や印鑑登録などの行政手続き等
- ・福祉サービスの利用の援助
 ＊サービス提供事業者を選択するための情報の提供等

【実利用者】 34件

[認知症高齢者等19名、知的障害者等5名、精神障害者等9名、その他1名]

⑩ 能美市福祉資金

市社会福祉協議会の福祉の貸付制度で、資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

- 【対象者】・能美市に住所を有する低所得世帯、身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯、高齢者世帯などで、市社会福祉協議会長が必要と認め、他から資金の融資を受けることが困難な世帯
・生活保護申請者で生活保護費受給までの生活費等が必要な世帯

【貸付限度額】原則として一世帯200,000円（無利子）返済計画に基づき償還
生活保護申請者は一世帯50,000円

【利用件数】 5 件

⑪ 石川県生活福祉資金

資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした石川県社会福祉協議会の資金貸付制度。市社会福祉協議会は、市内における利用申請、償還支援、連絡調整を行う。

※貸付の条件や限度額等については、資金種類によって異なります。

- 【対象者】①他からの借入が困難な収入が少ない世帯。
②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方のいる世帯。
③日常生活上療養又は介護を要する65歳以上の高齢者のいる世帯。

【利用件数】

貸付種類	件数
福祉費・教育支援資金・緊急小口資金 （内能登半島地震緊急小口資金特例貸付）	49件 （6件）
総合支援資金	18件
離職者支援資金	3件
臨時特例つなぎ資金	2件
合 計	72件

【延相談件数】 130件

※《新型コロナウイルス特例》緊急小口資金・総合支援資金

石川県社会福祉協議会では、令和2年3月から令和4年9月まで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の費用や、失業等により生活再建までの間に必要な費用の貸付を実施し、市社会福祉協議会では相談や申請受付を行った。また、令和5年1月から償還が始まり、相談窓口の周知及び、相談支援を行った。

○償還に関する相談

【延相談件数】 158件

【相談窓口の周知】社協ホームページにて相談先の周知や償還や猶予についての案内を行った。

※《能登半島地震における生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付》

石川県社会福祉協議会では、令和6年1月22日～能登半島地震により被災し、当座の生活費を必要とする世帯に対して、緊急小口資金特例貸付の受付を行っている。

市社会福祉協議会が窓口となり相談や申請を行った。

R6年度【延相談件数】 6件

【申請件数】 4件

【貸付件数】 4件

⑱ 歳末時のお見舞金の贈呈

歳末時に、あたたかいお正月を迎えてもらうために、民生委員・児童委員の協力を得てお見舞金を贈呈した。また、毎月実施している「ふれあい弁当」の１月分のお弁当には、福梅も添え、利用者にお正月の雰囲気味わってもらった。

- 【対象者】 市内在住・出身で支援を必要とされる方々や生活困窮者自立支援事業利用者（生保受給者は除く）
【実施期日】 １２月２日（月）～３１日（火）
【贈呈実績と総額】 ２３３件 １，２３５，０００円
【財 源】 共同募金

⑲ 安全・安心のための各種相談

⑲-１ 心配ごと相談

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員を相談員として委嘱し、市民の日常生活上の相談に応じ助言などを行う。相談員は各地区９名ずつで、計２７名。

- 【実施時間】 毎回 １３時３０分～１５時３０分
【開設場所及び開設日】（休館日の場合、開設日の変更あり）
根上地区…根上サービスセンター／毎月２５日
寺井地区…ふれあいプラザ／毎月５日
辰口地区…辰口福祉会館／毎月１５日
【実施回数】 ３６回（月３回・各地区１回ずつ）
【相談件数】 ２９件



- ・心配ごと相談所相談員研修会を開催した。

- 【開催日時】 １月３１日（金）１３時３０分～１５時３０分
【内 容】 講演：「孤独に悩む人を取り残さない地域づくり」
講師：石川県がん安心サポートハウス ソーシャルワーカー 久村 和穂氏

⑲-２ 弁護士無料法律相談

- 【対象者】 市民、市内に勤務の方（１名約３０分の相談時間で、１日４組までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】
【実施時間】 毎回 １３時３０分～１５時３０分
【実施回数】 ３６回（月３回）
【利用者数】 １３１名

＊開設日、開設場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑲-３ 行政書士無料相談

- 【対象者】 市民、市内に勤務の方（１名約３０分の相談時間で、１日４組までとする。）
【要事前予約。相談は来所で行う】
【実施時間】 毎回 １３時３０分～１５時３０分
【実施回数】 １２回（月１回）
【利用者数】 ３７名

＊開設日、開設場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑳ 成年後見制度利用促進事業

認知症や障がいにより判断能力が不十分なため、ご自身で日常生活における様々な手続きや契約関係に関すること、または財産の金銭管理等が難しい方等の成年後見制度の利用の相談や手続きの支援をする。

【サービス内容】

- ・制度利用の相談、申立て手続きの支援
＊制度に関する総合相談、利用に際しての書類作成の補助や手続き等の支援を行います。
- ・後見人候補者の紹介・調整
＊後見活動を行う適切な候補者を一人ひとりの方の希望される支援に合わせて紹介。調整する。
- ・後見人等への活動支援
＊支援における後見人からの相談や、適切な支援が行われているかを確認し、制度利用後も継続的に支援を行う。
- ・出前講座や研修会の開催 ＊地域住民や関係機関等への制度の周知啓発活動や、制度の理解を深めるための研修会等を企画し、随時開催する。

【活動実績】

制度に関する相談件数 42 件（新規相談件数）

【認知症高齢者等 14 件 精神・知的障害者等 5 件 その他 23 件】

【成年後見地域連絡協議会の開催】

第 1 回地域連絡協議会 【7 月 11 日（木）】

第 2 回地域連絡協議会 【3 月 13 日（木）】

【その他】

出前講座の開催 9 件

【金融機関 1 件、福祉施設 3 件、町（内）会 3 件、当事者団体 2 件】

成年後見セミナーの開催【2 月 28 日（金）21 名参加】

Ⅵ 在宅福祉サービスの提供

㉑ 福祉移送サービス（外出支援サービス）

一般の交通機関の利用が困難な方に、福祉車両による通院などの送迎サービスを行う。

【対象者】常時車いす利用者で、一般の交通機関を利用できない方

- ・重度身体障害者（身障手帳 1.2 級所持者）
- ・介護保険法に基づく要介護、要支援認定を受けた高齢者等
- ・その他、心身に何らかの障がいのあるおおむね 65 歳以上の高齢者

内 容	実 績
当該年度登録者数	15 名
延利用回数（片道を 1 回とする）	88 回
稼働実日数	41 日

㉒ たすけあい・ライフサポーター（訪問型サービス B）派遣事業

要支援者・基本チェックリストによる事業対象者に対し、自立支援を目的とした日常生活上の生活支援を行う。

【対象者】原則一人暮らしの方で、要介護認定の要支援 1・2 および事業対象者で生活援助が必要とケアプラン会議で認められた方

【実利用者】 4 名

【延べ派遣回数】 113 回

Ⅶ 老人福祉センターの指定管理、運営

⑳ 老人福祉センター白寿会館の管理、運営

高齢者の憩いの場である温浴施設（老人福祉センター）を指定管理、運営した。

施 設 名	開館日数	延べ利用者数
老人福祉センター白寿会館	256日	18,096名

Ⅷ 能登半島地震・能登豪雨災害に伴う被災者支援

㉔ 被災者見守り・相談支援等事業

◆能美市（～令和6年10月31日）

【事業内容】 令和6年能登半島地震において能美市に避難してきた人の生活支援を行う。

① 巡回相談

場 所	巡回数	延べ相談件数
辰口福祉会館	3回	4件
たがわ龍泉閣	2回	0件
まつさき旅館	2回	0件
スーパーホテル	3回	8件
B&B 他	0回	5件

② ボランティアマッチング・派遣・ボランティア活動者数

・マッチング（ボランティア）数 18グループ・個人
（生活支援7・交流10・炊き出し1）

・ボランティア活動者数 781人

③ 避難者送迎サービス業務

・延べ送迎件数 103件 ・稼働実日数 79日

④ 被災者相談支援事業（～令和7年3月31日 寺井あんしん相談センター）

・延べ相談件数 74件 ・実相談件数 22件

◆石川県

【事業内容】 生活支援相談員を配置し、賃貸型応急住宅、公営住宅、在宅等に居住する被災者を訪問し、見守りや相談、各専門相談機関へのつなぎ等を通じて、被災者の生活再建や自立を支援する。

【対 象 者】 みなし仮設住宅入居者 47世帯 95人
公営住宅入居者 21世帯 36人

【実 績】 訪 問 381件（訪問時不在含む）
架 電 131件
交 流 会 21件（カフェなど）
そ の 他 5件（通信発行）

Ⅸ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧

●〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1
『ふれあいプラザ2階』

・法人事務局

TEL：58-6200 FAX：58-6250
<http://www.nomi-shakyo.jp/>

・ボランティア・コミュニティ活動支援センター

TEL：58-6200 FAX：58-6250
<http://www.nomi-shakyo.jp/vc/>

・寺井あんしん相談センター

TEL：58-6117 FAX：58-6733

・くらしサポートセンターのみ

TEL：58-6603 FAX：58-6733

QRコード



能美市社会福祉協議会
ホームページ



能美市社会福祉協議会
フェイスブック



能美市社会福祉協議会
インスタグラム



能美市ボランティア・
コミュニティ活動支援センター
ホームページ



**令和6年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集**

発行 令和7年3月

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

TEL:(0761)58-6200

FAX:(0761)58-6250

e-mail : nomi@nomi-shakyo.jp